

霊安室前より

作・泉
晟

【登場人物】

あの人 二十代

この人 十代

【舞台】

どこかの病院の地下、霊安室前の廊下。

薄暗い。暗闇というわけではないけれど、一言で済ませるなら、出そう。

廊下の一方、「奥」には質量を伴った暗闇がじっと居座っている。

逆サイドにはエレベーターがあるらしい。そちらは微妙に明るく、暖かだ。

廊下の中ほどには惘然とビニル革の張られたベンチが置かれている。

リノリウムの無機質な床、「す」が入ったように凹凸の目立つ壁。

バリアフリーの為だろうか、壁には素っ気ない手摺が設置されている。

病院の中にあつてここだけは清潔さや安心感とは程遠い所にある。

不気味や陰鬱が歩き回っているみたいだ。

人影は二人きり。この廊下に、二人きりで、

【本文】

薄暗い廊下。

中央に長ベンチが一つ。頑張つて詰めれば四人は座れる。ビニルの安っぽい代物。

あの人、ベンチの片側に座つて廊下の奥をじっと見つめている。

この人、ベンチの逆側に腰掛け、奥をじっと見つめている。

ベンチの上には布の掛けられたバスケットがある。布からリングが覗いている。

あの人とこの人、じっと、奥を見つめている。

この人 ねえ。

あの人 はい。

この人 ねえ。

あの人 はい？

この人 ねえって。

あの人 はい、はい。

この人 ねえ。

あの人 はい、聞こえています。聞こえています、なにか？

この人 いや、なんでそんな、

あの人 だって、それならそっちこそ。

この人 そうじゃなくって。

あの人 あ、言い訳、言い訳、言い訳するんですね、ふーん。

この人 違う。なんで、そんな感じでさ、

あの人 え、え、え、どんななんですか？

この人 なにが？

あの人 そんな感じって、そんな感じがどんな感じが教えていただかないと、こっちとしてもあれってどうか、あれなんですけど、あれってどうか、あれ、ええ、そうなんです。そう、そうなんです。

この人 落ち着いて。

あの人 いやいや、全然。え、違いますけど。全然。違いますけど、違うって言うか、違う、違うんですけど、違います。違いますよ。全然。

この人 いんだけど。

あの人 ええ。ええ。ええ、じゃあ。

この人 うん。いいよ。

二人、未だにじっと奥を見つめている。

あの人 なんか、見えませんか？

この人 なに？

あの人 白っぽい、なんか、こう、

この人 え、え、え、

あの人 こう、クネクネ、って。違う。ウネウネ、フワフワ、ん、フネフネした、なんか。この人 なになに、見える？

あの人 いや、見えるっていうか、いるっていうか、あるっていうか。なんか、糸みたいなの。

糸、糸、半透明のフネフネ、した、なんか、糸。糸が、浮いて、浮いてるみたいな感じで、ほら、そこそこ、ほら。ほら。(宙を指さしている)

この人 ゴミじゃない？

あの人 違う違う。だって、全然生臭かったりしないんですけど。

この人 違う。なんで生ゴミ。

あの人 じゃ、埋め立て？埋めたってしょうがないでしょう、これ。

この人 分別とかの話じゃなくって、

あの人 そういう人が地球をね。地球を、するんですよ。

この人 違って。目の中のさ、ゴミじゃない。

あの人 ……え、こわ。

この人 あるじゃん、そういうさ。テレビなんかで見たよ。

あの人 目の中？

この人 そう。目の。

あの人 え、これ、え、この、これさ、じゃあさ、このフネフネが、さ、仮にですよ。仮に、目の中にいる、アレだとして、これ、このフネフネは、さ、どこから、どこから入って来たんですか。

この人 そりゃ、どっか、隙間。

あの人 なくないですか、隙間。目って、球ですけど。玉ですけど。隙間、隙間、なくないですか。

この人 パツと見、ないけど。ないけど、あるんだよ。雨漏りみたいな感じで。

あの人 これ、分別、どう、燃えますかね？

この人 多分。燃やすし。体ごと。死んだら。

あの人 ちよっと。

この人 うん。ごめん。

あの人 デリカシー。

この人 言いながら思った。

あの人 ほんと、そういう人がね、地球をね。地球をね。ね！

この人 ごめんって。

あの人 ほんとに。じゃ、これ、死ぬまでどうしようもない感じなんです？

この人 眼科行けば？

あの人 ああ。

この人 確か、ここ、三階か四階に。

あの人 いやあ。

この人 いいの、そのまま。

あの人 地下から四階だと遠いですし。それに何されるかわかんないですからね。

この人 ええ。

あの人 ま、でも、フネフネずっといたら嫌ですもんね。背に腹か、背に腹。

この人 うん……フネフネってなに？

あの人 え？フネフネ。

この人 いや、突っ込むべきかどうか悩んでたんだけど、そんな言葉くない？

あの人 でも、いるし。

この人 見えないから。

あの人、ゆっくりこの人を振り返る。

あの人 見て。

この人 え。

あの人 いるから、今、ここ、ほら。

この人 目の中でしょ。

あの人 じゃ、目の中見て。

この人 見えないでしょ。

あの人 あ、あ、あ、今、フネフネしてる。今、現在、史上一番、歴代最高フネフネしてま
すから！金メダル！ほら！早く！早く！早く！

この人 ええ。

あの人 ほら！ほら！

この人、仕方なくあの人、目を見る。
見つめあう二人。

あの人 どうです？見え、

と、奥からラップ音。

あの人、この人にサッと抱き着く。

あの人 ……あの、

この人 うん。

あの人 や、別に、別にですよ、全然、違うんですけど。違うんですよ。

この人 分かってる、分かってる。

あの人 なんか、その、

この人 うん。

あの人 え、え、分かってるって何ですか？

この人 え？

あの人 今。分かってるって、分かんなくないですか？

この人 だから、違うんですよ？分かってるよ。

あの人 ええ、違いますよ。違いますけど。

この人 ほら。

あの人 そうなんですけど、なんか、この、いや。

この人 ええ。

あの人 なんか、絶対あれですもん。悔ってるって言うか。

この人 そんな、そんなこと。

あの人 いいんです、いいんです。分かっていますから。

この人 だって、そっちがさあ、

あの人 分かっていますから。まだ若いですもんね。

この人 え、なに。それ。

あの人 いや、いいんですよ、いいんです。分かったって言いたくなるあれも全然、通過済
みって言うか、こっちは承知って言うか、はい、大丈夫なんで全然。

この人 ちょ、離して離して。

あの人 え、え、え、なにになになに、なんですか。

この人 離れ、離してって。

この人、あの人を引きはがそうとする。

あの人、抵抗を見せる。

あの人 いやいやいや、え、だって、ほら、今、聞こえましたよね。

この人 いいから。

あの人 だって、あれ、聞こえてない？聞こえてらっしゃらない？

この人 いいって、もう。

あの人、引きはがされる。

あの人、どうしようもなく奥を見る。

この人 ねえ。

あの人 はい。

この人 行かないの？

あの人 まだです。

この人 なんで。

あの人 だって、なんか、それならそちらこそ。ねえ。

この人 おなか痛い。

あの人 (振り返り、やっぱり奥を見て) お手洗い行けばいいんじゃない、

この人 そういうタイプじゃない。

あの人 どういうんですか。

この人 キリキリっていうか、ジクジクっていうか。

あの人 キクキク。

この人 ないよ、そんなの。

あの人 内科？腹痛は。

この人 ああ、うん。

あの人 五階ですよ。確か。

この人 うん。

あの人 行っちゃえばいいんじゃないですか。今。
この人 や。

あの人 なんか、あれかもですよ、取返しつかない系かもしれませんよ。ほら。例えば、ガンとか、えー、ガン、ガン、あ、腸捻転とか。

この人 なになに。

あの人 腸捻転。腸が、ひっくり返っちゃう、表裏？なんか、そういう病気です。

この人 いたそ。

あの人 早期発見の方が、ほら。

この人 大丈夫なの？

あの人 ま、見つかったからと言って、すぐどうこうじゃ、

この人 や、そっちが。

あの人 え、ん、ん、なんです？

この人 行っちゃったら、ほら、私が、そっちは。

あの人 いやいや、こっちは全然。渡すもん渡してって感じで、はい。

この人 でも、さつき、

あの人 あ、あ、あー、そっかそっか、そういうあれか。

この人 なに。

あの人 いやいや、やっぱり、分かってないって言うか、そういうんじゃないで、こっちは一人がどうこうとか、誰かと一緒にとか、そういうんじゃないんで。だから、はい、うん、どうぞ、お気になさらず、こっちはこっちのタイミングだけなんで。

この人 嘘だ。

あの人 いや、全然、ほんと。

この人 嘘じゃん、絶対、絶対、気にしてんじゃん。そういうことじゃん、絶対。

あの人 あー、あー、もうサッパリ、サッパリですわ。ですわ、ですわなんて言っちゃって。ふふ、いや、ほんと、全然ふふ、あはは、あははは。

この人 なに、やめろよ。

あの人 そういうんじゃないですよね。

この人 いや、そうじゃなかったら、え、そうじゃん絶対。

あの人 全然ですよ、もう。

この人 正直、ちよつとは、あるでしょ。

あの人 あのね、分かってるんですよ、分かっているんです。分かっているんですよ。なに、なにが、分かっている分かっているって。

あの人 絶対、こんなのね、行っちゃった方がいいに決まっているんですよ。

この人 え。

あの人 だから、あのですね、こんなもの、行った方がいいに決まっているんですよ。絶対。行った方が。

この人　じゃ、行けば。

あの人　そういう話じゃないですよ、

この人　なに、やっぱ、そうじゃん、ほら、

あの人　違う違う、違ってですよ。行った方がいいに決まってるんですよ、だから、でも、行かないんですよ。

この人　なに。

あの人　だから、分かんないですかね。行った方がいいですよ、いいんですよ。行った方がいい、絶対。これは絶対そう、そうなんですよ。でも、それと行けるとか行きたいとか、だつて、それは全く違う話で、でも、それはあなたが思ってる的な？のとは、違うんですよ、そういうんじゃないかって、そういうんじゃないかって、全く違ってそれは、ほんと、全く。だから、つまり、つまりですよ、全然、全然、全然怖いとかそういうんじゃないかって、つてことで。分かります？

この人　じゃ、行くよ。

あの人　ええ、ああ、ええ、お先に。

この人　五階。

あの人　あ、そっち。

この人　いんだね？

あの人　ええ、勿論。内科でも、外科でも、はい。

この人　行くよ、ほんと。ほんとに。

あの人　はい、どうぞ。

この人　……。

この人、ちよつと考えてから立ち上がり、あの人をじつと見る。

あの人、奥を見ている。

この人、奥とは逆に向き直る。

と、そちら側から「ポン」と電子的な音、続いて光が差し込む。

この人、硬直。あの人もそちらを振り返る。

やがて光がゆつくりと閉ざされていく。

二人、それを眺めて固まる。

この人、座り、あの人をの傍へ。俯いている。

あの人、この人を見ている。

あの人　誰かいました。

この人　（首を振る）

あの人　誤作動的なあれですかね。

この人　……。

あの人 でもあれですよ、内視鏡とかが誤作動するよりはるかにマシって言うか。

この人 え。

あの人 ん。

この人 や。

あの人 はい。

この人 え、内視鏡？

あの人 あの、内臓見るやつ。それで見られる時に、

この人 これ、そういう感じ？

あの人 例えば、例えば。

この人 ああ、例え。

あの人 なんか、こう、誤作動で曲がっちゃったりして、内臓、ドーンってするよりは、ほら、まだ。

この人 うん。

あの人 ほんと、助かりましたね。命拾い、儲けもんですよ。

この人 儲け、たかなあ。

あの人 ヒヤリハット、ほら。

この人 んー。

と、奥から再びラップ音。

あの人、奥を見る。そっとこの人に抱き着こうとする。

この人、あの人から距離をとって回避。

あの人、どうしようもなく奥を見る。

あの人 奥にユリゲラーでもいるんですかね。

この人 え。

あの人 スプーン曲げちゃう。エスパーの、知らないです？こう、擦ったりして。

この人 え、なんで曲げるの？

あの人 すごいじゃないですか。フニヤンといっちゃうんですよ。

この人 曲げない方が、だって、もったいない。

あの人 あ、まあ、そうなんですけど。絶対曲げない方がいいんですけどこんなもの。ムーとか読まないです？

この人 なに。

あの人 ムー、雑誌。

この人 (首を振る)

あの人 オカルトのピラミッドとか、超能力とかのこと書いてる。

この人 ノンノとかなら。

あの人 あ、それ対義語ですね。

この人 ムーとノンノ？

あの人 でしょう。絶対、交わらないって言うか。

この人 アンアンじゃない、ノンノの反対は。

あの人 ああ、うわ、一本。

この人 え。

あの人 カニばさみ。

この人 やったー、あ？

あの人 読んだ方がいいですよ、超能力者いるかもしれないんで。音出してるかも。

この人 いないでしょ。

あの人 分かんないですよ。

この人 いても死体じゃん。この場合。

あの人 あ、わ、あー、そっか、そういう感じか。じゃ、今のとかはその、超能力者の死体の、なんか、こう、呪いのな、うわ、ヤバ、エスパーとオカルト豪華二本立て？これ、来ちゃうかもですね、ムーの人が。

この人 来てなにをするの？

あの人 そりゃ、取材を。記事にしちゃって、あ、あ、あ、分かった、分かりました。あれ、

今の、ほら、エレベーター、誤作動、あれも、ユリゲラーが。

この人 え、そんなことできるの？

あの人 そりゃ、エスパーはなんでもいけちゃいますから。だから、ほら、内視鏡とか曲げちゃったのも絶対そうですよ。

この人 それ曲がってない。

あの人 えー、そっか、なんか、俄然、やる気出たって言うか、あれですね。

この人 行く？

あの人 んー、それは。

この人 やっぱり。

あの人 違いますって。

この人 いんだけど。

あの人 そっちでしょう。

この人 なに。

あの人 怖いのは。

この人 ……。

あの人 私は、そういうんじゃないんで。

この人 ね、なんで、これ。

あの人 なんですか？

この人 リンゴ。

この人、バスケットを指す。

あの人 嫌いですか？

この人 嫌いではないけど。

あの人 ジョナですよ。ジョナゴールド。

この人 なんでリングなのって話。

あの人 いや、分かりますよ。私もね、若いころはリングじゃないんじゃないかって、メロンとかの方が高級感ないか？とか、ミカンの方が手間はないなあ、とか、いっそ果物じゃない方がとか思っ、花とかね、そうやってグルグルしましたけど、結局はね、リングに戻って来るんですよ。リングがいいんですよ。いぶし銀。

この人 違う違う違う。え、なんでお見舞いのノリなの。そんな、ベストお見舞いの品みたいな話してない。

あの人 お見舞いじゃないなら、なんです？

この人 お見舞いじゃない、なに、なにか。

あの人 生きてるか死んでるかだけじゃないですか、これって。

この人 だけ、だけって、それが一番さ。

あの人 じゃあ、死んだら人じゃないんですか？

この人 なに？

あの人 あのね、マグロ。マグロから切り身取ってきます。マグロ死んでるじゃないですか間違いない。でも、マグロ、でしょ。人間は？これ、私は人間です。はい私、死にました。それは人ですか？

この人 そういう言い方。デリカシー。

あの人 あ、ああ、ごめんなさい。

この人 そういう人が、なんだっけ、地球を、さ。

あの人 でも、人ですよね。

この人 ……うん。

あの人 じゃあ、それだけです。生きてても死んでも、人が喜びそんなことした方がいいに決まってるんですよ。リング持ってきた方がいいに決まってるんですよ。勿論、あれですけどね、リングじゃなくてもいいんですけど、私の最終結論はリングになっただけで、はい。手ぶら。

この人 え、うん。

あの人 あー。

この人 なに。

あの人 ま、気持ちですからね、大事なのは。

この人 ダメなの？

あの人 ダメじゃないですダメじゃないです、全然。

この人 教えてくれなかったもん、誰もそんなこと。

あの人 ですよね、ですよね、私も、あれですから最近気づいた的な、あれなんで。

この人 教えといてよ、それは事前に。

あの人 いや、私も教えようがないって言うか、初対面ですし、ね、偶然ここで、

この人 教えてくれなかったじゃん、なにも。教えてくれなかったもん、ここ来るまで。分かんないじゃん、そんなの、だって、分かるわけないでしょ、後出しで、そんなの、いきなり、そんなんばつかじゃん！そんなんばつか！教えてよ、教えてくんないとき、分かんないよ！分かんない！

あの人、この人に向き直る。

あの人 うん、ですよね。だから、ダメじゃないです。大丈夫。うん。大丈夫だからね。ね。

この人 教えてよ。何持つて来るとかもさ、全部さ。

あの人 うんうん。分かんなくなるよね、ね、いきなり、あるからね、ポーンってね、手放しみたいなどこ、

この人 ねえ、どこ、ここ？なに？

あの人 怖いよね、怖いよね。とりあえず行っとけばいい、みたいなのあるしね、分かる。大丈夫大丈夫。

奥からラップ音。

あの人、振り返る。も、精一杯無視してこの人の方を向く。

あの人 大丈夫大丈夫。

この人 分かんないじゃん、絶対。絶対。

あの人 そー、ね、いきなりじゃね、いきなり。大丈夫。

あの人、この人の背中をさすってあげたりする。

あの人、奥を見ていないでいると、時々ラップ音が聞こえてくる。

この人、背中を丸めて俯いている。

この人 お腹痛い。

あの人 上行く？

この人 (首を振る)

あの人 戻っても大丈夫だからね。

この人 や。絶対、いや。

あの人 そ。大丈夫。

この人 急に行けって言ったりさ。

あの人 うんうん。

この人 じゃ、教えといてよ、全部。

あの人 ね。ねー。だよね。

この人 ほんと……。

この人、ラップ音に気づく。

この人 これ、大丈夫。

あの人 あ、まあ、ちゃんとしろってことなんだろうけど、あ、私がね。私が。

この人 ごめん。

あの人 あ、違う違う。えっとねえ、(奥に)あ、すいません、一瞬待ってもらおう感じで。

ラップ音。

あの人 ごめん。

あの人、奥に向き直る。

この人 ごめんなさい。

あの人 いやいや、大丈夫。

この人 ごめんなさい。

あの人 あの、あれなんですよ。あれ、分かってるんですよ。こんなのね、行った方がいいに決まってるって、ウダウダ抵抗してもさ、嫌がってもさ、冷静になったら行った方がいいに決まってるって、分かってるんですよ、こんなもの、決まってるんですよ。リングなんか、持って来ちゃって、サッサとね、腹くくれって。するんですよ、結構ね、意外としちゃって、リング。

この人 行った方が、いいよね。

あの人 あ、最終的にはね、最終的には、行った方がいいに決まってる。まだ、あ、まだ、自由って言うか全然。一回、一階の売店戻っちゃってもいいみたい。私は、ちゃんと向き合った方がいいんですけど、こんなの。ちゃんと向き合ってる、こうやって、なんだろう、客観的にね、自分のことだけじゃなくて。やですけど、めっちゃめっちゃめっちゃめっちゃ、やですけどね。そうも言ってるらないし。

この人 いつ行くの？

あの人 まあ、いよいよ、見てもバンバン言い出したら。行きたくないけど。

この人 うん。

「ポン」と光が差し込む。

この人、振り返る。

あの人 誰か乗ってます？

この人 ううん。

あの人 チャンスなんじゃないですか？

この人 かな。

あの人 お腹痛いんでしょう。

この人 うん。

あの人 きっと、ユリゲラーが。

この人 ああ。

あの人 ね。ほら。

この人、ゆっくり立ち上がって、光の方へ。

光がゆっくり薄れていく。

あの人、じっと奥を見つめている。

この人、戻ってきてベンチに座る。

あの人、振り返り向き、また奥を見る。

あの人 あれ。

この人 なに。

あの人 いや、なんで？

この人 まだ、もうちょい。怖いし。閉めてきた。

あの人 ああ、まあ、それも、自由ですかね。

この人 うん。ね。

あの人 はい。

この人 ねえ。

あの人 はいはい。

この人 ねえ、これ。

あの人 はい？

この人 食べていい？

あの人 (振り返り、すぐ戻り) え。え、リンゴ？

この人 うん。

あの人 なんで？

この人 百薬の長って。お腹痛い。

あの人 ええー。

この人 いいじゃん一個ぐらい。

あの人 いやいや。

この人 ね。

あの人 ……まあ。

この人 やった。

この人、籠からリンゴとナイフを取り出す。

この人 ウサギにする？

あの人 ああ、まあ、じゃあ。

この人 うん。半分こね。

あの人 ああ、はい。ありがとうございます。

この人 見といてよ。

あの人 はい、はい。

この人 なんだっけ。

あの人 なにが？

この人 これ、名前。

あの人 ジョナゴールド。

この人 あ、ね。

あの人 あのお腹痛いならすりリンゴとかの方が。

この人 すれないし。これじゃ。

あの人 あ、まあ。

この人 ウサギにするから。待っててよ。せっかち。

あの人 ノンビリしてる方なんですけどね。ここで、ダラダラと。

この人 いいじゃん、リンゴ食べてから行きなよ。

あの人 うーん。

この人、リンゴを剥いている。

あの人、奥をジッと見ている。